

CONTENTS

この冊子の使い方	1
会長挨拶	2
1. 会場アクセス・周辺図	3
2. 年次集会概要	4
3. タイムテーブル	6
4. 事前参加登録・懇親会のご案内	7
5. ワークショップ（WS）参加登録のご案内	9
6. ワークショップ（WS）一覧と内容	10
7. 一般演題募集	24
8. パネル展示募集	26
9. 患者家族の会・支援者の会 展示募集	27
10. セミナーのご案内	28
11. 託児のご案内	31
12. 宿泊のご案内	32
13. 日本外来小児科学会入会手続きのご案内	35
14. 第4回ワークショップリーダー研修会のご案内	巻末

開 始 日	締 切 日 一 覧
3月22日(火) 事前参加登録 WS事前参加登録 一般演題募集 パネル展示募集 託児申込み 宿泊・交通申込み	5月23日(月) WS事前参加登録 5月23日(月) 一般演題募集 7月15日(金) パネル展示募集 7月15日(金) 事前参加登録 宿泊申込み 7月20日(火) 事前参加登録入金 宿泊申込入金 8月19日(金) 託児申込み

日本小児科学会専門医制度研修として8単位
 日本小児神経学会小児神経科専門医研修として2単位
 が取得できます。

当学会は子どもの健康を守るために禁煙運動を推進しております。第21回日本外来小児科学会年次集会では全面禁煙といたしますので、参加される皆様のご協力をお願いいたします。

この冊子の使い方

この冊子には、各種の登録や申込みをするために必要な事項が記載されています。該当ページを参照して、登録・申込みを行ってください。

事前参加登録/懇親会申込み

できるだけ事前登録をお願いします。7ページ以降を参考に、年次集会ウェブサイト上から登録してください。なお、事前参加登録に引き続き、懇親会もあわせてお申込みください。

(締切日 7月15日)

ワークショップ参加申込み

ワークショップ（WS）は、この学会の特徴の一つであるテーマ別のミーティングです。原則として事前の申込みが必要です。事前参加登録に引き続き、申込みができます。詳しくは9ページをごらんください。

(締切日 5月23日)

宿泊申込み

事前参加登録に引き続き、年次集会ウェブサイト上で宿泊の予約ができます。32ページ以降を参考にしてください。

(締切日 7月15日)

一般演題募集

年次集会ウェブサイトより応募してください。24ページ以降の要項にしたがってご応募ください。

(締切日 5月23日)

パネル展示募集

応募される方はE-mailで担当者へご連絡ください。詳細は26ページにあります。

(締切日 7月15日)

託児申込み

必要とされる方はE-mailでご連絡ください。詳細は31ページにあります。

(締切日 8月19日)



第21回日本外来小児科学会年次集会のご案内

会長 熊谷 直樹



第21回日本外来小児科学会年次集会を2011年8月27日(土)～28日(日)に神戸市で開催させていただきます。昨年20回の節目を迎え、第21回はこれまでに蓄積してきたことを踏まえ、今後に繋げるために何が必要か、それらをどのようにして学習していくかを論じる場にしたいと考え、テーマを「外来小児科 Update -何に気づき、どのように学ぶか-」といたしました。小児科学の臓器別分野ではない外来小児科学を発展させ、会員のアイデンティティが確立することを目指した年次集会を企画しました。

一般演題は新しい知見を得る自己学習の場ではありますが、同時にこの1年間自らが行ってきた研究の成果を発表し、その評価を得る場でもあります。一般演題の充実が学会の発展と底上げに欠かせないと考え、発表は口演とポスターの2通りをお願いします。口演では十分な議論ができなかった、あるいは聞き漏らしたなどの点を解消することを目的としてポスター展示も併用していただきます。また学会の最後に優秀演題を選び、表彰します。

ワークショップ(WS)は設立当初からの本学会の特徴であり「他人の話を聞くだけでなく、自ら発言すること」を主旨とした少人数での討議の場です。熱心な討論と有意義なプロダクトが生まれる事を期待します。

セミナーは従来の Meet the Expert (MTE) を発展させ分野別に企画し、その分野のエキスパートなどから話を聴いて参加者とともに討議する場としました。

シンポジウムはテーマに沿って、外来小児科学の発展、向上には「何が必要か、そのためにはどのようにすればいいのか」について、日常診療の現場から提言していただきます。

特別企画として桂雀三郎一門による落語会を開きます。子どもと医療にまつわる落語から、話術とコミュニケーション技術を学び取っていただければ幸いです。

年次集会前日の8月26日(金)19時～21時に事前申込み不要の前夜セミナーを開きます。主として若手小児科医を対象とした実践的で興味深いお話を聴くことができると存じます。

27日(土)に参加者による懇親会を国際会議場に隣接したポートピアホテルで開きます。神戸牛、スイーツをはじめとした神戸ならではの味を堪能しながら、参加者相互の親交を深めてください。

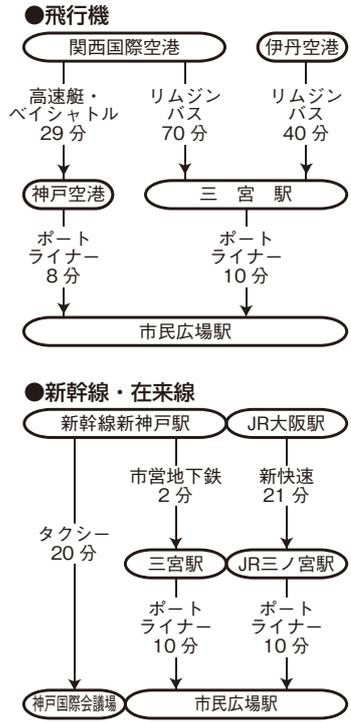
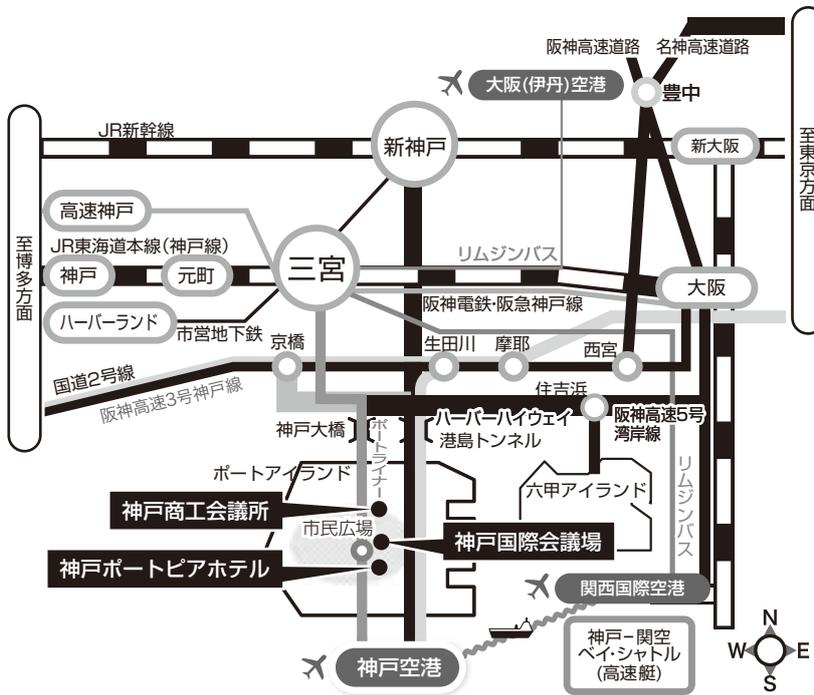
また神戸には港や六甲山の自然、1,000万ドルともいわれる夜景、ファッション、JAZZ、中華街、旧居留地など様々な観光ポイントがあり、スイーツやグルメも含め、“体験型”の観光を楽しんでいただけます。

現在、近畿2府4県と徳島県、福井県、神奈川県 の40数名の実行委員がそれぞれの知恵を出しあいながら鋭意準備を進めております。

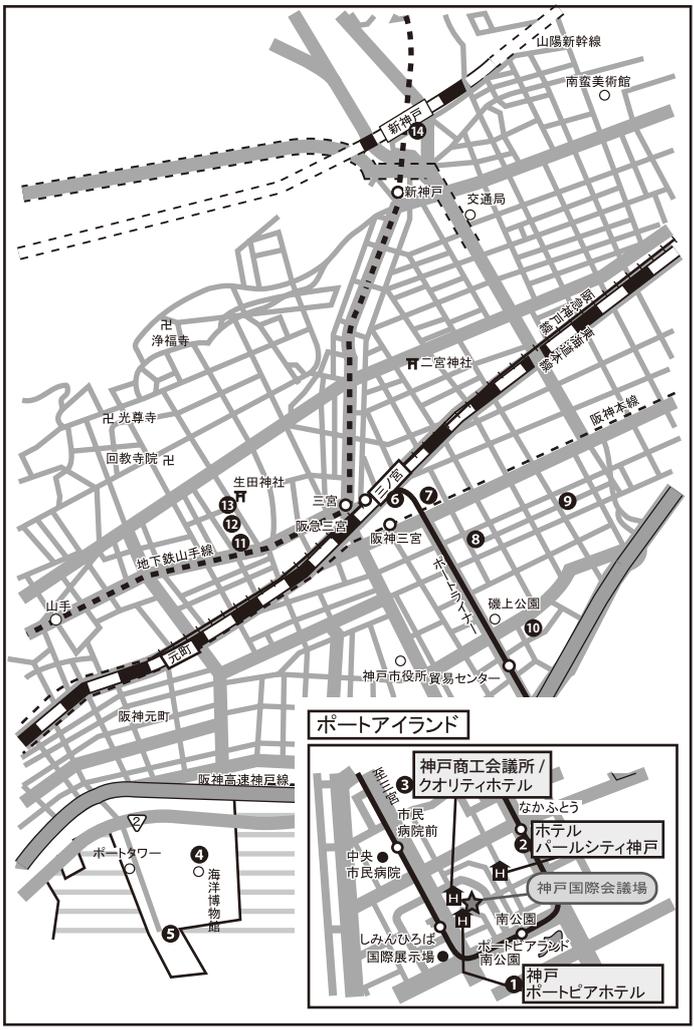
年次集会は、会員、会員でない方、医師、コ・メディカル、学生を問わず、どなたでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお願い申し上げます。

2011年3月

1. 会場アクセス・周辺図



- ① 神戸ポートピアホテル
- ② ホテルパールシティ神戸
- ③ クオリティホテル神戸
- ④ ホテルオークラ神戸
- ⑤ メリケンパークオリエンタル
- ⑥ 三宮ターミナルホテル
- ⑦ 神戸東急イン
- ⑧ アパホテル神戸三宮
- ⑨ 神戸三宮ユニオンホテル
- ⑩ ホテルサンルートソプラ神戸
- ⑪ ザ・ビー神戸
- ⑫ ホテルモントレ神戸
- ⑬ ホテルモントレアマリー
- ⑭ クラウンプラザ神戸



2. 年次集会概要

テーマ：外来小児科 Update ー何に気づき、どのように学ぶかー

会 期：2011年8月27日（土）・28日（日）

会 場：神戸国際会議場 神戸市中央区港島中町6-9-1

ポートピアホテル 神戸市中央区港島中町6-10-1

神戸商工会議所会館 神戸市中央区港島中町6-1

会 長：熊谷 直樹（くまがいこどもクリニック／兵庫県尼崎市）

事務局：藤田 位（藤田小児科／兵庫県西脇市）

公式ウェブサイト：<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>

●一般演題口演発表 8月27日（土）午後・8月28日（日）午前

参加者全員が聴講し討議に参加できるようにプログラムを配慮します。一つの演題に十分な時間を取っていますので、存分の討議をかわしてください。またすべての演題は会期中ポスターとして展示します。

なお、会長ならびに実行委員、学会誌編集委員、リサーチ委員で構成する選考委員会により、優秀演題を選出し表彰します。ぜひこの1年の研究成果をご発表ください。

●一般演題ポスター展示 8月27日（土）・8月28日（日）

一般演題口演を聞き逃された方のために、すべての演題を会期中ポスターとして展示いたします。質問紙を用意しますので、質問をなさりたい方は是非ご利用ください。

●ワークショップ（WS） 8月27日（土）午前・8月28日（日）午前 **要 事前登録**

参加者全員で討論しプロダクトを生み出すWSは当学会の大きな特徴です。参加には事前登録が必要ですが、一部当日参加も可能ですので、総合受付横に設置していますWS案内係にお尋ねください。また今回も昨年に引き続き、すべてのWSを開始1時間後からドアオープンとし見学できるようにしました。

●セミナー 8月27日（土）午前、午後・8月28日（日）午前

ワークショップに参加されない方のために、セミナーを用意しました。昨年（第20回年次集会）まで、Meet the Expertと呼んでいたセッションを装いも新たに再構成しました。「教育セミナー」、「スキルアップセミナー」、「アドボカシーセミナー」、「特別セミナー」の4種類のセミナーに分けています。実行委員会から発する新しい息吹をぜひ感じてください。

●シンポジウム 8月27日（土）午後

今回の年次集会のテーマである「外来小児科 Update ー何に気づき、どのように学ぶかー」について診療現場から提言していただき、それに基づいて、診療の質の向上、日常診療でのリサーチ、学生、研修医や会員への教育など、今後私たちが取り組まなければならない課題について参加者を交えシンポジウム形式で議論します。

●**会長講演 8月27日(土) 午後**

「外来小児科医とアイデンティティ(仮題)」

●**特別企画 8月28日(日) 午後**

医療と子どもにまつわる上方落語2題をお届けします。子どもたちが社会の中でどんなに大切にされていたかを再認識していただければ幸いです。

●**ランチョンセミナー 8月27日(土) 昼・8月28日(日) 昼**

現在テーマ、講師を最終選考中です。抄録・プログラム集でご案内いたします。

●**各種展示 8月27日(土)・8月28日(日)**

一般演題ポスター展示

パネル展示

患者家族の会・支援者の会

企業展示

●**総会 8月27日(土) 午後**

●**懇親会(ポートピアホテル) 8月27日(土) 夜**

ハイカラの町神戸でおいしい料理とお酒を満喫しながら、参加者同士の親睦を深めてください。実行委員一同、精一杯のもてなしの心でお迎えます。

●**託児 8月27日(土)・8月28日(日) **要事前申込** **無料****

託児室を会場内に設置します。事前申込みが必要です。本冊子、年次集会ウェブサイト、抄録・プログラム集で詳細をご確認ください。

【前夜セミナーのご案内】

8月26日(金) 夜 **事前登録不要 **無料** **軽食付き****

年次集会の前日に若手の医師向けの講演会を開催します。会員の方はもちろんのこと、会員以外の方でも自由に参加できます。金曜日夕方に到着される方はお気軽にご参加ください。

ぜひ最新の知識を学んで明日からの外来診療に役立ててください。

日時：2011年8月26日(金) 19:00~21:00

会場：神戸国際会議場301(国際会議室)

演題：1) 19:00~20:00

構造と感染症 診断と治療

岩田健太郎 神戸大学大学院医学研究科 微生物感染症学講座感染治療学分野

神戸大学都市安全研究センター 医療リスクマネジメント分野

2) 20:00~21:00

小児軽症外傷のABC

～小児科医がちょっとしたけがに対応するときに心がける5つのこと～

安 炳文 京都府立医科大学 救急医療学

3. タイムテーブル

8月26日(金)	19:00～21:00	前夜セミナー	
----------	-------------	--------	--

8月27日(土)	9:00～11:45	ワークショップ	セミナー
	12:00～12:50	ランチョンセミナー	
	13:00～15:30	一般演題(口演)	セミナー
	15:40～18:00	シンポジウム	
	18:00～18:20	会長講演	
	18:20～18:50	総会	
	19:00～20:30	懇親会	

8月28日(日)	9:00～10:25	一般演題(口演)	セミナー
	10:40～13:10	ワークショップ	セミナー
	13:15～14:00	ランチョンセミナー	
	14:10～15:00	特別企画	
	15:00～15:20	優秀演題表彰式	
	15:20～15:30	閉会式	



2月11日撮影

4. 事前参加登録・懇親会のご案内

事前参加登録期間：2011年3月22日（火）～7月15日（金）
※事前参加登録期間終了後は当日登録のみとさせていただきます。

【参加登録費】

区 分	申込記号	事前登録費	当日登録費	懇親会費	
会 員	医 師	A	13,000円	15,000円	5,000円
	非 医 師	B	7,000円	9,000円	5,000円
非 会 員	医 師	C	16,000円	18,000円	5,000円
	非 医 師	D	8,000円	10,000円	5,000円
前期研修医 及び学部学生	E	2,000円 (抄録集代)	2,000円 (抄録集代)	5,000円	

※前期研修医及び学部学生の方は、事前に登録された方も総合受付にて身分証明書をご提示ください。

●病院勤務医の参加を歓迎します。

今回は、本学会会員ではない病院勤務医の方々に多く参加していただきたいと考え、8月28日（日）のみ、1日参加費（5,000円）を用意しました。本学会非会員で病院勤務医の方が対象です。事前受付はしませんので、身分証明書をご持参の上、総合受付にお越しください。

●申込方法

年次集会ウェブサイトからお申込みいただけます。

インターネットでの申込みができない場合は登録事務局へFAXにてお申込みください。

1. 年次集会ウェブサイト（<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>）からの申込み

- 1) 左側の事前参加登録ボタンより登録ページにはいってください。
- 2) 画面左上「メニュー」の「各種申込A（事前参加登録、宿泊）」をクリック、次に画面右の「事前参加登録申込み」をクリックしてください。
登録サイトが表示されますので、必要事項をすべてご入力していただき、ご登録をお願いいたします。
- 3) 予約確定後、ご登録いただいたメールアドレスあてに確認メールを送信いたします。
確認メールが届かない場合はアドレスの入力間違い等が考えられます。登録事務局までお問合せください。

2. FAXによる申込み

- 1) 登録事務局（㈱日本旅行神戸支店）まで登録用紙をご請求いただき、登録事務局へFAXにてお申込みください。
- 2) 予約確定後、申込代表者様へ請求書関係書類等をFAXにてお送りいたします。

●懇親会について

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を行います。懇親会のみのお申込みはできませんのでご了承ください。

日 時：2011年8月27日（土）19：00～20：30

会 場：神戸ポートピアホテル 本館 地下1F『偕楽』

●昼食について

近隣のレストラン・喫茶をご利用ください。お弁当の販売はございません。

なお、8月27日・28日はランチョンセミナーにてお弁当をご用意しております。数に限りがございますので予めご了承ください。

●お支払い方法について **お支払い締切：2011年7月20日（水）**

- 1) 確認メールまたはご請求書等が届きましたら、予約内容・請求金額をご確認の上、お支払いをお願いいたします。
- 2) お支払いは、銀行振込みまたはクレジットカードによる引落しの2通りです。
銀行振込の場合、振込手数料はご負担いただきますのでご了承ください。
- 3) インターネットにて申込みの方は、オンラインクレジットにてお支払いできます。
FAXにて申込みの方はご指定のクレジットカードより開催前に一括にてお引落しさせていただきますので、ご希望の場合は申込書にご記入ください。

●変更・取消しについて

変更及び取消しのご連絡は、行き違いをさけるため、必ずFAX・E-mailなどの書面にてお願いいたします。

なお、電話での取扱いは致しかねますので、何卒ご了承ください。

手配並びに準備の都合上、取消しに伴う参加登録費のご返金は、8月1日（月）以降は一切できませんのでご了承ください。

●事前参加登録をされた方の当日の受付について

事前登録された方は当日の受付は要りません。ただし前期研修医及び学部学生の方のみ、当日総合受付で身分証明書または病院で使用しているネームカードをご提示下さい。

事前参加登録をされた方には、8月上旬頃に参加証とプログラム・抄録集をお送りします。

当日はネームホルダーをご用意しておりますので、会期中は身につけてご参加ください。

年次集会参加受付は、8月27日（土）8：00から行います。8月26日（金）の前夜セミナーの際は、年次集会受付は行いませんのでご注意ください。

●お問合せ先

株式会社 日本旅行 神戸支店内

『第21回日本外来小児科学会年次集会 登録事務局』

担当者：樋口 敬和／濱田 康之／池田 理紗

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-2 JR西日本神戸支社5階

TEL：078-371-2810 FAX：078-371-2816

E-mail：21st_sagpj@nta.co.jp

営業時間：平日10：00～18：00（土日祝日休み）

5. ワークショップ (WS) 参加登録のご案内

事前参加登録期間：2011年3月22日 (火) ~5月23日 (月)

今回は8月27日 (土) 9:00~11:45と8月28日 (日) 10:40~13:10の2つの時間帯に開催いたします。全ての参加者が意見を述べるワークショップ (WS) という本来の形を重視して、各参加人数を40名以内とします。同じ時間帯のワークショップに複数参加することはできません。

●申込方法

WS参加の申込みは年次集会公式ウェブサイトからのみとさせていただきます。

第21回日本外来小児科学会年次集会公式ウェブサイト (<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>) からお申込みください。原則として先着順とし同一施設から同じWSへの申込みは2名迄とさせていただきます。(リーダー・サブリーダーは除く) 同時に、年次集会参加事前登録もお願いいたします。

●参加WSの決定と通知

WSの決定については、各WSリーダーにご一任ください。申込者への通知は、リーダーがE-mailで連絡いたします。

●WS情報

1. WS番号

WS-27: 27日 (土) のWSを表します。

WS-28: 28日 (日) のWSを表します。

2. 進め方

研修型: 講義や発表の内容を確認しながら討論し、学習内容をまとめて成果とします。

問題解決型: 提示された問題について解決策を討論し、その結論を成果とします。

3. 参加人数

最大参加人数を示しています。実際には少人数で実施する場合があります。

4. 参加費

それぞれのWSを運営するための費用です。当日リーダーにお支払いください。会計はそれぞれのWSごとをお願いいたします。リーダーは予め参加者に対して費用のおおまかな明細を提示してください。

5. 当日参加の可否

当日参加「不可」のWSは参加が決定している方だけが参加できます。必ず事前登録をしてください。

当日参加「可」のWSは原則的に当日参加できますが、事前登録で定員に達している場合は当日参加ができないこともあります。できるだけ事前登録することをお勧めします。

6. 対象

参加者の職種に制限を設けているWSがあります。お申込みの際にはご注意ください。

7. アンケート

全てのWSのリーダーならびに参加者を対象としたアンケート調査を実施いたします。

担当委員: 松浦伸郎、野間大路、月山 啓、土田晋也、西村龍夫、西原 信

《問合せ先》

松浦伸郎 (松浦医院) E-mail: matsuura@ca.mbn.or.jp

FAX: 079-336-0120

6. ワークショップ (WS) 一覧と内容

8月27日 (土)

No.	テーマ	リーダー
WS-27-1	予防接種委員会によるコメディカルのための予防接種 －効率的な受付での対応を考えよう－	岡藤 隆夫
WS-27-2	子どもの貧困を考える	和田 浩
WS-27-3	外来保育で気づき、学んでみませんか －学会医療保育ネットワークからの提案－	木野 稔
WS-27-4	「赤ちゃんのスキンケア教室」をはじめませんか？	土屋 千枝
WS-27-5	「前向き子育てプログラム (トリプルP)」を知ろう	有瀧 愉子
WS-27-6	『勇気づけ』の子育て支援を学ぼう アドラー心理学ワークショップⅠ 『お母さんを勇気づける』	山田 進一
WS-27-7	あまえ療法 (その7)	澤田 敬
WS-27-8	アンケートの自由記述を上手に分析して活用しましょう	斉藤 匡
WS-27-9	こどもと薬：2回目～小児科と調剤薬局の連携からうまれる服薬管理	松本 康弘
WS-27-10	シャイな子・引っ込み思案な子について学ぼうPart2 －場面緘黙 (ばめんかんもく) を中心に－	金原 洋治
WS-27-11	スタッフが一つになれるチームBLS研修	村上 博
WS-27-12	医療者のためのNLPワークショップ	杉原 桂
WS-27-13	外来看護の検討 (5) 外来看護からの発信 ～子どもに対する予防接種教育～	及川 郁子
WS-27-14	学校で健康を考えよう ～よりよい保健調査票を作ろう～	田中 秀朋
WS-27-15	子どもの足を考える パート4 「子どもたちの足や靴から、五感を開き、生きる力を育てる歩育を考える」	松田 隆
WS-27-16	初心者向けバージョン電子カルテANNYYYS臨床版	清水 健
WS-27-17	日常診療での臨床判断	原 朋邦
WS-27-18	熱傷の湿潤療法を学ぼう	矢嶋 茂裕
WS-27-19	発達検査を学ぼう！パート2 (基礎編)	蜂谷 明子
WS-27-20	服薬指導への取り組み (その10) 子供での薬の使い方を見直してみよう	高橋 肇
WS-27-21	亡くなられた患児の家族とのコミュニケーション (その11)	千原 克
WS-27-22	明日からもっとうまくなる小児科での禁煙支援	牟田 広実

8月28日（日）

No.	テーマ	リーダー
WS-28-23	小児喘息について調査研究方法を検討する	杉村 徹
WS-28-24	WISCⅢを体験してみよう	高田 修
WS-28-25	アドボカシーは市民の中へ	乾 浩明
WS-28-26	これからの1か月健診を考える ー魅力ある1か月健診は小児科でー	金子 淳子
WS-28-27	さあ、くすりを飲もう！その2 ～服薬動機を高めるために～	上荷 裕広
WS-28-28	タッチケアを実践しよう	吉永陽一郎
WS-28-29	ナースサイドからの予防接種を推進するための働きかけについて考えましょう	櫻井 淑子
WS-28-30	もう一度待合室の絵本	佐々木邦明
WS-28-31	われわれはどの様に診断しているのでしょうか（臨床診断の根拠を調べる）	日野 利治
WS-28-32	院長が急に倒れた時どうしますか？：クリニックの危機管理を考える	佐藤 順一
WS-28-33	家族志向の小児ケア	田中 久也
WS-28-34	喫煙防止授業 ー何をどう伝えるかー	野田 隆
WS-28-35	今日からできる小児肥満外来への取り組み	青木真智子
WS-28-36	子どもの描画と発達	白川佳代子
WS-28-37	思いやりの医療ってなんだろう！？ ～ユーモアコミュニケーション体験を通して考えよう～（その3）	田草 雄一
WS-28-38	児童館へ行こう！	栗山 智之
WS-28-39	小児科医の出前授業1	山口 淑子
WS-28-40	小児救急初療コース（Triage & Action）	茂木 恒俊
WS-28-41	地域の障がい児を知ろうパート2 ー小児在宅医療についてー	宮田 章子
WS-28-42	乳児期のワクチンスケジュールを考えよう ～同時接種をどうする～	松浦 伸郎
WS-28-43	不活化ポリオワクチンの接種を始めよう	藤岡 雅司
WS-28-44	臨床の質を高めるための教育的な「ふりかえり」	関口進一郎

8月27日(土)〈1〉

WS 27-1	予防接種委員会によるコメディカルのための予防接種 －効率的な受付での対応を考えよう－
岡藤隆夫 永井崇雄 東原真希 原田克枝	
<p>ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成が始まり、受付での仕事が煩雑になりました。さらに自治体によって予防接種への取り組みや制度が異なるため、その対応に苦慮しているところもあると思います。</p> <p>そこで本WSでは、受付をスムーズに行うための工夫や受付でのトラブルの対処など、それぞれの経験を集め、予防接種の受付を効率的に行うための具体策を模索します。また、予防接種制度についての理解を深めるためのミニレクチャーも予定しています。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：その他（医師以外）	

WS 27-2	子どもの貧困を考える
和田 浩 武内 一	
<p>昨年第1回のWSでは、子どもの貧困への気づきの重要性が確認され、問題が少し診療の現場で見えるようになった「可視化」への一歩でした。</p> <p>今回は、子どもの貧困シンポも開催されることから、少し踏み込んだ話し合いが出来たらと思います。具体的な子どもの貧困事例などの経験をもちより、相互に情報を共有し、子どもの貧困解決に向けての医療の関わりはどうあるべきか、その方向性が少し確認出来るWSをめざします。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：20名
参加費：500円	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-3	外来保育で気づき、学んでみませんか －学会医療保育ネットワークからの提案－
木野 稔 片山 啓	
<p>小児科外来に保育士が入って行なう活動にはいろいろな可能性が考えられます。その活動を通して外来診療に関わる全ての人に多くの気づきが生まれます。年齢・病状に応じた絵本の読み聞かせやオナメント制作、診療へのプレパレーション方法などを研究することで多くのことを学べます。小児科外来待合室での子どもと親の様子から、医療の質を評価してみませんか。医療現場で子どもに保育を提供することで、医師もスタッフも楽しくなるような事例を紹介しましょう。本学会には公式に認められた医療保育ネットワークがあります。外来保育を始めたい医師、保育士をはじめ、保育との協働を検討している看護師、コメディカルスタッフも参加してください。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-4	「赤ちゃんのスキンケア教室」をはじめませんか？
土屋千枝 岡本まゆ美	
<p>赤ちゃんの肌の乾燥や湿疹など皮膚のトラブルで悩んでいるお母さんが多くみられます。しかし、外来診察内だけでは十分なスキンケア指導の時間が取れません。</p> <p>正しいスキンケアの知識と手技を習得して各々のクリニックでお母さんにマンツーマンで指導する「赤ちゃんのスキンケア教室」を開設しませんか？</p> <p>教室を開設したいと思われるクリニックの看護師の参加を募ります。このWSではスキンケア教室で行なわれる入浴法、保湿剤やステロイド剤の塗布の仕方などの指導内容を実践体験していただきます。</p> <p>コメンテーターは益子育代さん（東京都立小児総合医療センター専門外来アレルギーエデュケーター）。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：20名
参加費：1,000円	当日参加：否
対象：看護師（各施設1名）	

8月27日(土)〈2〉

WS 27-5	「前向き子育てプログラム（トリプルP）」を知ろう
有瀧愉子 梅野裕子 家元めぐみ	
<p>日々、子どもとの関わり方やしつけに悩む親たちと関わっている専門職の方にとって、そのような親の支援方法を具体的に学ぶことは有効であると考えます。オーストラリアで約30年前に開発された、認知行動療法に基づく「前向き子育てプログラム（トリプルP）」は、しつけや親子関係の改善に有効であることがエビデンスに基づき証明されています。今回、前向き子育てプログラムの概要と専門職が知っている現場で役立ついくつかの子育て技術のご紹介を致します。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：30名
参加費：1,000円	当日参加：否
対象：医師・看護師・保健師・保育士・臨床心理士	

WS 27-6	『勇気づけ』の子育て支援を学ぼう アドラー心理学ワークショップⅠ 『お母さんを勇気づける』
山田進一 高柳滋治 柳本利夫	
<p>アドラー心理学は、オーストラリアの精神科医であるアルフレッド・アドラーが創始し、その後継者達が発展させた心理学の理論、思想と治療技法の体系です。アドラーは、診療所での診療の他に児童相談所で子育てに困った母親達の相談をしたり、家庭や学校におけるこどもの教育について精力的に活動したことが知られています。今回は、小児科外来での子育て支援につかえるアドラー心理学の中核である『勇気づけ』の技法を中心に、理論と実践で学ぶワークショップです。今回のテーマは『お母さんを勇気づける』です。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-7	あまえ療法（その7）
澤田 敬 新津直樹 小池茂之 藤田一郎	
<p>過去6回のWS「あまえ療法」は非常に好評で、毎回定員オーバーだった。小児の心身症、トラウマは養育者にあまえることで癒される。あまえは間主観性（心の響き合い）の世界であり、養育者のholding（ほっとした雰囲気包みこむ）があって初めて成り立つ。あまえは世代間伝達される。今回はあまえを受容できない父母への介入、あまえと虐待との関係、虐待予防について学びたい。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-8	アンケートの自由記述を上手に分析して活用しましょう
斉藤 匡 黒木春郎 卯月勝弥 西垣佳織	
<p>診療やケアの質の向上に、サービス利用者へのアンケートは欠かせません。なかでも自由記述の設問への回答のなかには、新たな真理の発見につながる宝(原石)が眠っていると言われてます。自由記述の内容から有益な情報を得るには質問票の作成の際にどういった点に注意をしたらいいのか？記述内容をどう分析すればいいのか？そのノウハウをWSと一緒に学習しましょう。</p> <p>質的研究方法検討会のメンバーがお手伝いします。参加者の方が職場に戻ってすぐにアンケートを実施したくなるようなWSを目指します！</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：20名
参加費：500円	当日参加：可
対象：制限無し	

8月27日(土)〈3〉

WS 27-9	こどもと薬：2回目～小児科と調剤薬局の連携からうまれる服薬管理
松本康弘 木下博子 稲垣美和代	
<p>第1回目は「連携」について小児科医と処方せんを応需している調剤薬局にアンケートを実施し、連携の現状や課題点の洗い出しを行った。その結果、「連携」に対しておおむね満足しているものの、疑義紹介を直接できないというもどかしさ等の難しい点も指摘された。こどもの服薬管理を十分に行うためには、医療機関との連携を密に行うことが必須である。そこで今回は医師だけでなく看護師などのメディカルの方からも「連携」についてコメントを頂き、「連携」を深めるための具体的な方策について検討すると共に、各施設の事例を基に服薬管理への活用につながる行動変容をもたらしたい。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：否
対象：制限無し	

WS 27-10	シャイな子・引っ込み思案な子について学ぼうPart2 －場面緘黙(ばめんかんもく)を中心に－
金原洋治 富賀見紀子 山口瑞穂 角田圭子 林 美子	
<p>シャイ・引っ込み思案など「抑制的気質」がある子は15%位います。その傾向が極端な子は、不安障害、場面緘黙、心身症、不登校などの発症頻度が高くなりますので、早期からの支援が必要です。しかし、周囲の人に迷惑をかけず、困り感をアピールすることが苦手の彼らは、ADHDや自閉症などの発達障害に比べると、目立ちにくく支援が後回しになりがちです。</p> <p>第2回WSでは、家ではよくしゃべるが園や学校ではほとんど話さない場面緘黙(選択性緘黙)を中心に学びましょう。とくに、場面緘黙の子どもの感じ方に焦点を当て、接し方について学ぶことをWSの主な目的にします。参加者との意見交換の時間を多くとる予定です。</p>	
進め方：研修型・問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-11	スタッフが一つになれるチームBLS研修
村上 博 芦田乃介 青木太郎	
<p>病院やクリニックでは、様々な職種のスタッフが、力を一つにして、共通の目的のために働く事で大きな力が生まれます。よくコーチングなど坐学でのスタッフ研修はありますが、なかなかチーム研修がうまくいかない事が実情です。今回は、教授システム学の知識を生かし、心肺蘇生法であるBLS研修を用いて、スタッフが一つのチームになる過程を体験していただきます。同時に、日常診療でもしかしたら必要になるかもしれない心肺蘇生の場面にも役立つ知識と実習を得ていただきます。併せて、最新の2010年心肺蘇生法ガイドラインのエッセンスも紹介いたします。</p>	
進め方：研修型・問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：1,000円	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-12	医療者のためのNLPワークショップ
杉原 桂 山本幸一	
<p>神経言語プログラミング(NLP)とは「他者の行動を観察して分析し、それを一体化したり修正したりするためのツール」です。</p> <p>臨床医は医学的知識・技能については医学部で学び、卒業後もアップデートする機会がありますが、自分の知識・技能をどうやって人に伝えるか、については無自覚であったりアップデートが行われないうままに過ごしている人が少なくありません。一緒に、コミュニケーション技法を学んでいきましょう。かならず患者さんや医療スタッフ同士の意欲を高めることができる医療人になります。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：1,000円	当日参加：可
対象：制限無し	

8月27日(土)〈4〉

WS 27-13	外来看護の検討(5) 外来看護からの発信～子どもに対する予防接種教育～
及川郁子 川口千鶴 長谷川桂子 山本美佐子	
<p>近年、予防接種の種類や回数が増え中高生にも接種が行われていますが、接種の普及率が低いことが報告されています。積極的に接種することが期待されていますが、接種される子どもにとっては嫌な体験を何回も経験することにもなります。幼いころから予防接種の意義を理解し、自分から進んで予防接種を受けられることができることは、子ども自身が自分のからだや健康を知るきっかけともなります。昨年は予防接種プログラムを紹介しましたが、今回も地域での実践活動を紹介し、よりよいケアについて一緒に考えていきたいと思います。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：30名
参加費：300円	当日参加：否
対象：看護師・助産師・保健師・保育士	

WS 27-14	学校で健康を考えよう ～よりよい保健調査票を作ろう～
田中秀朋 岩田祥吾	
<p>小中学校在籍中に利用されている保健調査票には全国一律の形式がなく、自治体ごとに作成されています。そのため、転居による転出元と転入先で情報が噛み合わないことがあります。地域によって重要視する項目が異なる可能性はありますが、使用する学校側にも記入する保護者側にも地域性を超えた共通点が多いはずで、在学生の健康管理に重要な役割を果たす保健調査票の問題点を明確にし、理想的な保健調査票のひな型を提示したいと考えています。学校医だけでなく、養護教諭、一般教諭、保護者など様々な立場の方が参加してくださることを期待しています。当日の議論が深まるように、メーリングリストによる事前の意見交換を予定しています。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-15	子どもの足を考える パート4 「子どもたちの足や靴から、五感を開き、生きる力を育てる歩育を考える」
松田 隆 岡空輝夫 内田俊彦 永井恵子	
<p>子どもの足の異常は、下肢のみならず全身の姿勢や集中力、運動発達など、身体発達全体に影響を与える。昨年までの3回に亘って、小児期からの靴教育の重要性、さらに、「歩いて、自然や社会に触れ、五感を開き、体で学ぶ直接体験を通じて、子ども達の豊かな心、生きていく力を育てる」教育的活動としての「歩育」について学んできた。今回は、子どもたち運動の状況や足や靴についての最新の知見を学び、子どもの足を健やかに育て、生きる力(ライフスキル)を身につけるために、歩育をどのように進めていくか、校医、園医、医療・保育従事者、医療機関、家庭・地域・学校や園がどのように連携していけばよいか、具体的な方策を検討する。</p>	
進め方：研修型・問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：1,000円	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-16	初心者向けバージョン電子カルテANNYYYS臨床版
清水 健 田村有広	
<p>外来小児科学会電子カルテ検討会開発プロジェクトANNYYYSの初心者バージョンを提供したいと思います。できるだけボタンを少なく、困ったときには基本形に戻るなど、初心者には不安のないような作りを目指しました。機能的には、問診、所見、処方、検査、投薬は簡便に作業でき、経過表も時系列、紙カルテのような表示、カレンダー表示など自分にあった表示で理解できます。予約サイトでは、ワクチン予約の時には接種間隔などきめ細かいメールでの連絡もできます。導入、メンテナンスも手伝ってくれる業者さんもできました。</p> <p>電子カルテの導入を考えておられる方触ってみませんか。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：500円	当日参加：可
対象：制限無し	

8月27日(土)〈5〉

WS 27-17	日常診療での臨床判断
原 朋邦 谷村 聡 鈴木英太郎 宮田章子	
<p>ありふれた病気のケアは殆どの場合にエビデンスに基づいて行われていないと言われています。然し、日常の診療の場では、何らかの臨床判断を行い、それに基づいてケアを組み立てています。日常診療で頻度が高い所謂風邪症候群を課題にして、臨床判断を見直すことで、ケアの質の向上を図ることができるかどうかを模索したいと考えます。臨床ウイルス学で実績を築きあげられている鈴木英太郎さんと宮田章子さんをコメンテーターとし、議論を進めます。参加者が自ら行っているケアの内容を再確認して参加されることを希望します。尚、20回年次集会のWSでは、有効性が確認されたものがないケアには、ナラティブエビデンスを考えてみるという方向性が示されましたが、症状・所見・病因をよくみることで、その変化を評価すれば有効性のあるケアも見出されるのではないかという意見もありました。参加者は、聴講者ではなく積極的に論議に加わられる方を希望します。何かを皆さんに提供してください、そして何かをお持ち帰り下さい。そのようなワークショップにしたいと思います。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-18	熱傷の湿潤療法を学ぼう
矢嶋茂裕 岡田清春 佐久間秀人 福田弥一郎	
<p>湿潤療法で熱傷を治療するとその効果は劇的で従来であれば皮膚移植の可能性がある症例でも瘢痕を残さずに治療できる可能性があります。しかし湿潤療法は皮膚科や形成外科でも必ずしも普及しているとは言えず、自ら治療している小児科医が増えています。本WSでは参加者の症例を持ち寄り、被覆材の種類と選択、治療方法などを紹介し、これから湿潤療法を始めたい小児科医にも役立つ情報を提供する予定です。湿潤療法を多数経験している方からこれからやってみようという方まで広く集まって意見交換をしましょう。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：1,000円	当日参加：可
対象：医師	

WS 27-19	発達検査を学ぼう！パート2（基礎編）
蜂谷明子 木谷秀勝 栗山智之	
<p>昨年は「発達検査を学ぼう！（入門編）」においてWISC-Ⅲがどのような検査かを詳細に体験しました。更に検査者側としての『子ども中心の支援』をベースとする姿勢と心を学びました。</p> <p>今回、パート2（基礎編）では引き続きWISC-Ⅲを取り上げて、発達障碍の典型的なプロフィールを紹介し、その特徴から見える児の不自由さ、二次的リスクについて検討します。このWSを通して、診察室などで発達障碍に関して相談を受けた時のための知識を高め、更に子ども達全体へのより良い支援の目を広げるスキルアップを目指します。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：20名
参加費：1,500円	当日参加：否
対象：医師	

WS 27-20	服薬指導への取り組み（その10） 子供での薬の使い方を見直してみよう
高橋 肇 堀江浩一 高橋めぐみ	
<p>子供の服薬指導をテーマに、今回は子供での薬の使い方を見直すことを目的にWSを開催することに致しました。自分自身も初期研修の時に教わった処方方を現在も使っていたり、毎回パターン化された処方方を繰り返すことがよくあります。嘔吐下痢症の子供にアドソルピンとタンナルピンなどの苦い薬を出して服薬困難で困ったこともあります。また、皮膚科の先生方からは、「水痘にカチリなんて痛いじゃないか」「〇〇ダームなんか出すから子供がアトピーになるんだ」と厳しい指摘を受けたこともありました。</p> <p>今回は皆さんが処方に対して疑問に思っていることや、最近自分で見直して処方内容を変更した例等の事前アンケートを行った上で議論したいと思います。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：20名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

8月27日(土)〈6〉

WS 27-21	亡くなられた患児の家族とのコミュニケーション(その11)
千原 克 峯 真人	
<p>これまで、同じテーマで10回ワークショップを行ってきました。医師、看護師、事務担当者、家族会の方等、様々な立場の方々に自由に討論していただき、お互いの理解を深めていただきました。少子化といわれる現在では、子供は家族の生活の中心となり、それを失うことは誰も予想していないと思われます。その大切な人を失うという時に医療従事者は、誰でも出会う可能性があります。そのため、医療従事者と家族とのコミュニケーションは、とても重要な意味を持つと思います。参加していただいた方だけでなく、どの立場の方でも理解していただく啓蒙活動の方法なども考えていきたいと思っています。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：20名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 27-22	明日からもっとよくなる小児科での禁煙支援
牟田広実 野田 隆 高橋裕子 三浦秀史	
<p>本WSは2008年から継続して開催しており、禁煙支援の経験豊かなサブリーダーが模擬患者さんに扮して、小児科外来でよくある設定の禁煙支援を体験してもらう場を提供してきました。今回はよりリアルに行うため、元喫煙者で現在は禁煙支援を継続的に行っている方々を模擬患者さんとしてお願いしました。その上、サブリーダーがファシリテーターとして効果的な学習を支援します。これまでのWSでも、参加者からは「完成度の高いワークで、喫煙者の気持ちを理解しながら禁煙を勧めるノウハウを着実に身につけることができた。」などの声を頂いており、また元喫煙者である模擬患者さんから生の声を聞くことも明日からの禁煙支援にきっと役立つことと思います。禁煙支援は初めてという方から、もっとブラッシュアップしたいという方まで、幅広い参加をお待ちしております。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：24名
参加費：1,000円	当日参加：否
対象：制限無し	

8月28日(日)〈1〉

WS 28-23	小児喘息について調査研究方法を検討する
杉村 徹 永井崇雄 伊藤純子 西藤成雄	
<p>小児科の日常診療において、気管支喘息はもっとも多く経験する疾患の一つです。</p> <p>今回、リサーチ委員会では、小児の気管支喘息にテーマを絞り、テーマに関連するリサーチの紹介や、モデルとなる論文について調査研究の方法を学び、今後の参考にするべく、このワークショップを企画しました。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児喘息の代表的な論文（欧文）をEBMの視点で検証する。 2. 小児の喘息に関連して、調査研究方法検討会で議論された研究を報告する。 3. 総合討論 <p>以上の要領で進めます。積極的な参加をお願いします。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 28-24	WISCⅢを体験してみよう
高田 修 佐久間秀人 佐藤秀明	
<p>発達障害を持つ子どもにとって、その子の特性を解釈して適切な教育支援を受けられるように評価するWISCⅢは大切な検査です。</p> <p>このWSでは、全員にWISCⅢの簡易版を体験していただき、発達障害を持つ子どもたちの内的世界を体感し、理解を深めていただきます。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：1,000円	当日参加：否
対象：制限無し	

WS 28-25	アドボカシーは市民の中へ
乾 浩明 岩田祥吾 杉原 桂	
<p>それぞれの地域、それぞれの立場で日々実践しているアドボカシーの活動を、WSの場で発表することを通して、これからの市民運動に広げていく可能性を模索していきます。今年は序破急の“急”の年として、WSの形式では最終回となります。医療者からも、非医療者からも、発言のできる真摯なWSを目指していきたいと思えます。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 28-26	これからの1か月健診を考える －魅力ある1か月健診は小児科で－
金子淳子 藤野 浩 金原洋治	
<p>公費助成が始まったヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種啓発の機会として、また、母子の愛着形成や虐待防止の視点から、生後早期から小児科医が赤ちゃんに関わることは必須で、1か月健診はその良い機会と思われます。</p> <p>山口県では全ての市町で公費1か月健診が実現、小児科医が自身の病院や診療所で赤ちゃんを診ています。皆さんの地域ではいかがでしょうか？</p> <p>小児科でおこなう1か月健診を全国に広めること、更に、全国の施設のアイデアを持ち寄り、現在おこなわれている1か月健診をより充実した魅力あるものにすることを、このWSで検討したいと思います。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

8月28日(日)〈2〉

WS 28-27	さあ、くすりを飲もう！その2 ～服薬動機を高めるために～
上荷裕広 松本康弘 齋藤栄二	
<p>去年に引き続き服薬を拒む3歳以上の小児に対し、いかにして服薬の必要性を理解させ、服薬動機を与えるかを検討するWSを行いたい。前回WSでのSGDにおいて、服薬を拒む原因分析を行った際、保護者の考え方や服薬に対する理解不足が患児の服薬に対して多大な影響を与えていることが確認された。しかし、改善策の討議が十分に行えなかったため、今回は保護者への支援・指導に的を絞って討議を行いたい。保護者に服薬の必要性を理解させるために、さらに保護者が患児に対して服薬動機を与えることができるように、私たちはどのような指導や支援を行えばよいのか、事例をあげて検討したい。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：否
対象：制限無し	

WS 28-28	タッチケアを実践しよう
吉永陽一郎 七木田方美 池澤千恵子	
<p>小児科外来で育児支援を行う中で、特に、愛着形成支援の試みが多く行われるようになりました。絵本や子守唄、抱っこのおすすめなどその内容は様々です。このワークショップでは、小児科外来でタッチケアの実践や指導をする時の問題や解決策を検討することを通して、愛着形成支援の考え方を身につけていきます。昨年のワークショップで学んだ、タッチケアの実技と理念を通して、より実際の場で起こりうる課題やトラブルを知り、解決策を検討します。昨年のワークショップに参加されていない方も歓迎します。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：500円	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 28-29	ナースサイドからの予防接種を推進するための働きかけについて考えましょう
櫻井淑子 関 ゆかり 及川まき 新垣純子	
<p>接種費用に対し助成が出ようになったヒブ、小児肺炎球菌両ワクチンをはじめとした予防接種について、さらに理解しただけ早い時期に受けていただくために、ナースサイドから保護者に対してどのように働きかけができるのか、一緒に考えましょう。</p> <p>グループ別に協議し、その後全体討論で議論を深め、最終目標としては、診療現場で使えるリーフレットの作成を目指します。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：否
対象：看護師	

WS 28-30	もう一度待合室の絵本
佐々木邦明 北原文徳	
<p>2000年に始まったWS「待合室の絵本」は11年目を向かえた。この間に子どもたちを取り囲む情報伝達手段はめまぐるしく変貌した。スマートホン、電子ブック、I-Padなど、新しいメディアの波は立ち止まることを知らない。いつも子どもたちの側にいる小児科医は、肉声で奏でる言葉の響きや、体を寄せ合う肌のぬくもりや、目と目で交わす合図などの人間が培ってきた情報交換の手段を、子どもたちが失わないように守ってあげなければならない。単純で美しいメディアである絵本を読み合うことによって、次世代を生きる子どもたちに豊かな心が育つと信じている。もう一度、「待合室は親子が絵本に出会う大切な場所です」のメッセージを強く伝えたい。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

8月28日(日)〈3〉

WS 28-31	われわれはどの様に診断しているのでしょうか(臨床診断の根拠を調べる)
日野利治 青木才一志	
<p>我々の日常診療において、病歴、身体所見、検査所見等をどのような割合で根拠に行っているのでしょうか。またどの程度確実に診断できているのでしょうか。これらの割合は医師個人により異なるのでしょうか。また季節により異なるのでしょうか。このような問いに関してリーダーらは現在、初診発熱患者の診断に対して自己判定のデータを集積しつつあります。本WSで共同研究のデータの検討とともに、WS参加者の診断に関しても上記問いを中心に一緒に検討していきたいと考えています。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：否
対象：医師	

WS 28-32	院長が急に倒れた時どうしますか？：クリニックの危機管理を考える
佐藤順一 池澤 滋 松井祐治	
<p>日々健康に診療を続けている医師でも、思いがけない病気や事故がいつ起こるとも限りません。小児科クリニックの院長が事務の統括やIT機器管理の中心を担っている状況は多く見られますが、応援医を依頼するにしてもはたして診療が円滑に行われるのでしょうか。診療継続を第一に考え受診や入院を躊躇したために不幸な結果を招くことは稀ではありません。</p> <p>「健康問題はいつでも起こる可能性がある」ことを前提に、日ごろからの健康管理に必要なものは何か、「休診」の場合どのような問題が起こるか(本当に大きな問題をもたらすのか)など、予定入院の事例も含めて経験者の報告を基に、もしものときに困らない運営体制と心構えを話し合っていきたいと思います。</p> <p>このWSは「オープンクリニック・ネットワーク」活動の一環として企画しました。</p>	
進め方：研修型・問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：医師・その他(医師の家族)	

WS 28-33	家族志向の小児ケア
田中久也 佐古篤謙	
<p>ごく軽症な健康上の問題を繰り返す患者、有効な治療法を提示しても乗ってくれない患者、軽症にもかかわらず過剰なほど薬を要求する患者……。このような患者に出会ったことはありませんか？これは患者個人の身体疾患以外の問題がそのような行動を起こさせているのかもしれませんが。こうしたとき、家族背景を理解することで解決策が見つかることもあります。</p> <p>小児ケアにとっては欠かせない資源である家族。普段の診療のなかでの家族との付き合い方を学びましょう。(注：家族療法ではありません)</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：20名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 28-34	喫煙防止授業 ー何をどう伝えるかー
野田 隆 牟田広実 伊藤裕子 三浦秀史	
<p>第20回外来小児科学会年次集会において『そのまま使える防煙授業』というセミナーを行い、幼児から定時制高校までの対象別の授業を供覧し、CD資料として配布した。今回は『子どもたちに、最初の1本を吸わせない』ためにはどんな授業をどのようにすればいいか、対象を小学校5年生35人、45分間という設定で考えてみたい。『自分の人生にタバコは必要ない』と思わせるには、どのような切り口で『たばこの真実』を伝えるか、参加者の経験を基に話し合い、喫煙防止授業のエレメントを抽出してみたい。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：20名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し(喫煙防止授業の経験者)	

8月28日(日)〈4〉

WS 28-35	今日からできる小児肥満外来への取り組み
青木真智子 進藤静生 清松由美 植山奈実	
<p>①2010年のWSにおいて、子どもの肥満—スクリーニングと初期対応—と題し、小児肥満の概説と小児肥満への取り組みの実際を討論した。リーダーらが作製した「今日からできる小児肥満への取り組み」テキストについて討論した。</p> <p>②テキストの内容を充実させ、WS参加者へ送付した。2011年WSの開催前に、テキストで使用できる部分（外来に小児肥満が来院したときの問診・計測・血液検査、治療）について実際使用したときの問題点、改良点について討論する。</p> <p>③小児肥満は、行政、学校現場を含めた取り組みが必要であり、実際行っておられる先生方に連携の方法について講義してもらう。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 28-36	子どもの描画と発達
白川佳代子 宮崎雅仁 上原伊都子 松田 明 川野辺令恵	
<p>これまで子どもの描画と発達、描画と心理療法（特に認知療法との関連性）、さらに発展して絵から読み取れる脳の成熟と発達障害、について学んできました。子どもの描画にも自由画のほかに人物画、木の絵、家族画などの課題画があります。今回は原点に戻って、さまざまな描画を用いた発達の評価について、その基礎と応用を勉強したいと考えます。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：500円	当日参加：否
対象：制限無し	

WS 28-37	思いやりの医療ってなんだろう！？ ～ユーモアコミュニケーション体験を通して考えよう～（その3）
田草雄一 岡原仁志 塚原成幸 栗山恵子	
<p>「思いやりの医療を考える会」は人にやさしい「思いやりの医療」を創造することを目的とした会です。これまで、①患者さんの声をお聴きして医療者と患者さんが心を寄せ合う意見交換会、②患者さんと医療者が仲良くなるための高塚人志さん（ヒューマンコミュニケーション）や塚原成幸さん（臨床道化師）らのワークショップを開催しています。今回はみなさんへ「思いやりの医療」について体感しながら考えていただく機会にさせていただくために、2010年に引き続き、塚原さんをお招きしてワクワク楽しく、ドキドキ体験する、参加型のワークショップをご提供いたします。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：2,000円	当日参加：否（見学は可能です）
対象：制限無し	

WS 28-38	児童館へ行こう！
栗山智之 蜂谷明子 谷村 聡	
<p>児童館は集団での遊びを保証することにより児童の健全育成に寄与しています。子どもが集団で遊ぶ機会が減った現代において児童館は地域における子ども社会の最後の砦であるとも言えます。子ども達が他者との関わりの中で社会性を身につけて成長してゆく事は決して失われてはならないプロセスであり、地域の医療人がその場を支えてゆく意義は大きく、学童期における地域での子育て支援の核ともなりうる大きな可能性を持っています。しかし、すぐそばにある児童館の存在はあまり知られておらず、その意義や価値や可能性も正しく理解されているとは言い難い現状です。すぐにできる地域づくりの場として児童館に行ってみませんか？</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

8月28日(日)〈5〉

WS 28-39	小児科医の出前授業 1
山口淑子 白井由起子	
<p>地域の子育て支援、学校支援で保育園、小学校、中学校、地域の集会等へ出かけて行って授業・講演等をしている小児科医が大勢いると思う。こどもの病気であったり子育てへのアドバイスであったり、また思春期問題対応、生活習慣病予防、就学時の心得等さまざまであろう。参加者のみなさんとの情報の交換・共有・批評等を行い、その力を高めていきたい。今回は参加希望者の方から、その内容を募集しテーマを決め、数人のかたに発表いただき、その後討論等を行うという形式で進行したい</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：500円	当日参加：可
対象：制限無し	

WS 28-40	小児救急初療コース (Triage & Action)
茂木恒俊 岩元二郎 吉田 伸 大杉泰弘	
<p>緊急度や重症度が高い患児を適切にトリアージし、見逃してはいけない疾患、見た目から全身状態が悪い子どもを早く発見し、適切な初期対応を行いながら小児科医に相談、連絡する能力を身につけるコースです。帰宅可能な軽症疾患に対する対応も学習します。コースをとおしてトリアージや発熱などのシナリオ症例に対するロールプレイを体験しながら楽しく学習します。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：24名
参加費：無料	当日参加：否
対象：看護師・医学生(4年生以上)・その他(研修医)	

WS 28-41	地域の障がい児を知ろうパート2 ー小児在宅医療についてー
宮田章子 秋山千枝子 神川 晃 余谷暢之	
<p>障がいを持った子ども達が病院や療育施設で退院できずにいます。障害者たちが地域で生活するためには、病院と地域の医療機関、自治体、ソーシャルワーカーなどの社会資源が必要になります。前回、地域の障がいを持った子ども達の状況を知りました。今回は、病院と地域医療機関との連携方法について等の講義や、在宅医療を検討されている医療機関、すでに実施されている医療機関、そして病院・療育機関間で情報交換を含めた討論を行います。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：可
対象：医師・看護師・保健師・事務・その他 (MSW)	

WS 28-42	乳児期のワクチンスケジュールを考えよう ～同時接種をどうする～
松浦伸郎 川島 崇 及川 馨	
<p>平成21年度より、インフルエンザ菌ワクチン、平成22年度から7価の肺炎球菌ワクチンが出現し、DPTワクチンのスケジュールにほぼ一致した時期にこれらのワクチンが加わった。乳児期早期にはBCG、ポリオなどのワクチンが既に組み込まれており、今回の2種類が加わったことによりスケジュールの立て方が難しくなっている。さらに同時期に接種するロタウイルスワクチンが出てくるのを考えると、乳児期早期に接種するワクチンのスケジュールが過密となり実際どうすれば効率よく接種できるか、なかなか難しい側面がある。今回これらの問題点を検討し同時接種の方式や接種方法なども加えこの時期のワクチン接種計画について検討したい。</p>	
進め方：問題解決型	最大参加人数：30名
参加費：無料	当日参加：否
対象：医師・事務	

8月28日(日)〈6〉

WS 28-43	不活化ポリオワクチンの接種を始めよう
藤岡雅司 片岡 正 宝樹真理 矢嶋茂裕	
<p>経口生ポリオワクチンを接種すると、非常に稀な確率ですがワクチン関連麻痺性ポリオ（vaccine-associated paralytic poliomyelitis：VAPP）が必ず起こります。しかしVAPPは不活化ポリオワクチンを導入すれば防ぐことができます。VAPPを仕方のないものとして見て見ぬふりをするのか。防ぐことができるものとして対応するのか。正に今、小児科医の行動が問われています。現在は国内未承認ワクチンである不活化ポリオワクチンを実際に接種できるよう、保護者への説明、ワクチン納入方法、接種スケジュール、健康被害への対応などについて具体的に検討していきましょう。これから始めようとしている方だけでなく、既に接種を始めている方の参加も歓迎します。</p>	
進め方：研修型・問題解決型	最大参加人数：40名
参加費：無料	当日参加：可
対象：医師	

WS 28-44	臨床の質を高めるための教育的な「ふりかえり」
関口進一郎 高村昭輝 木実谷貴久	
<p>日常臨床のなかでは、だれしも印象に残る出来事や症例を経験しているものです。それは患者さんやご家族から感謝されたことであったり、クレームであったり、治療がうまくいったケースだったり、苦勞して取り組んだ困難なケースだったりします。こうした印象に残った、重要な意味をもつ出来事や症例について、医療者間で系統的にふりかえり、詳しく検討するプロセスを通じて、将来の行動を改善したり、臨床の質を向上させたりすることができるとされています。今回のワークショップでは、臨床の質を高めるための振り返りの手法を体験して、実地臨床や臨床教育に活かせるかどうか、ご参加の皆様とともに検討したいと考えています。</p>	
進め方：研修型	最大参加人数：20名
参加費：無料	当日参加：可
対象：制限無し	

【事務スタッフのためのワークショップ入門セミナー】

8月28日(日) 10:40~13:10

本学会は、コメディカルの積極的な参加も特徴の一つです。中でも事務スタッフが学会を経験できる、大変貴重な機会となっています。毎年たくさんの事務スタッフが参加していますが、そのほとんどが学会自体に初参加です。

このセミナーは、このような学会への参加経験の少ない事務スタッフを対象に、ワークショップ（WS）を疑似体験するセミナーです。

当日参加のみで開催します。参加人数は60名とします。 **事前申込 不要**

●**テーマ**：事務スタッフに出来る工夫・事務スタッフの悩み～初参加の方のためのWS入門セミナー

●**企画**：島田 等／しまだ小児科 事務（熊本県上天草市）

●**概要**：事務スタッフの日常業務の工夫や悩みという身近なテーマを取り上げ、改善策や対策を考えてみます。少人数のグループ会議を行い、参加者が負担無く発言し、充実感を得られるような気軽な楽しい会にしたいと思います。

目標は、参加者に学会参加の充実感と楽しさを感じてもらい、その討議の中から、次なるWSのテーマやリーダーが生まれることです。

7. 一般演題募集

募集期間：2011年3月22日（火）～5月23日（月）

一般演題は原則口演発表とし、同時にポスターも展示していただきます。口演をすべて聞くことはできないため、ポスターを展示して口演の内容をいつでも見られるようにいたします。今回は選考委員会を設けて、優秀演題を選び閉会式の前に表彰します。日常の診療での工夫や研究など奮って応募ください。現在進行形の研究も大歓迎します。発表することで大勢の方と興味を共有し、議論することで問題点を深める事ができると考えます。

なお、申込み時にご自身でキーワード（日本語）を3つ付けていただきますようお願いいたします。

【発表形式】

すべての演題について口演発表とポスター展示の両方をお願いいたします。

1. 口演発表

- ・口演は**発表8分、質疑4分**の予定です。
- ・口演に使用する機器はPCプロジェクター1基のみとさせていただきます。
- ・事務局側で用意するコンピュータの仕様は下記の通りです。

OS：Windows 7

発表用ソフト：マイクロソフト社**パワーポイント（PPT）2007**

※PPT2000以降に対応します。

※動画並びに音声利用については対応できませんのでご注意ください。

- ・Macをご使用の方、PPT2010やその他のソフトを使用する場合は各自ノートパソコンをご持参ください。
- ・持参していただくパソコンはD-SUB15ピンの端子が付いていることが条件です。端子が無い場合は必ずアダプターをご用意ください。また電源コードも忘れずにご持参ください。
- ・ご発表のデータは相互のウイルス感染の危険性が高いことにより、必ずバックアップをとった上でUSBメモリまたはCD-Rでお持込みください。

●口演日時

8月27日（土）13：00～15：30

8月28日（日）9：00～10：25

2. ポスター展示

展示には縦210cm、横90cmのパネルを用意します。

発表内容は縦180cm、横90cm内に、要旨、目的、結果、考察、結語の順に収まるようにまとめてください。（下部10cmは余白です）

（図、表を含めスペース：A3用紙10枚程度にお願いします。）

上段に演題名、演者名、所属を縦20cm、横70cmの範囲でご用意ください。

演題番号表示とプッシュピンは事務局でご用意します。

●展示日時など

- ・ポスター貼付：8月27日（土） 8：00～9：00
- ・展示場所：神戸国際会議場4階
- ・展示期間：8月27日（土） 9：00～18：00
8月28日（日） 9：00～14：00
- ・撤去：8月28日（日） 14：00～16：00

※8月28日16：00以降になっても撤去されない場合は事務局にて処分します。

●質問箱と質問紙を用意します。演者は質問者にご回答いただくようお願いします。

【応募方法】

年次集会公式ウェブサイト（<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>）からの申込みを原則とします。インターネットによる申込みができない場合は、下記担当までご連絡ください。

担当委員：幸道直樹、岡田清春、岡藤隆夫、山家宏宣、日野利治、大谷和正、宮崎雅仁

《問合せ先》

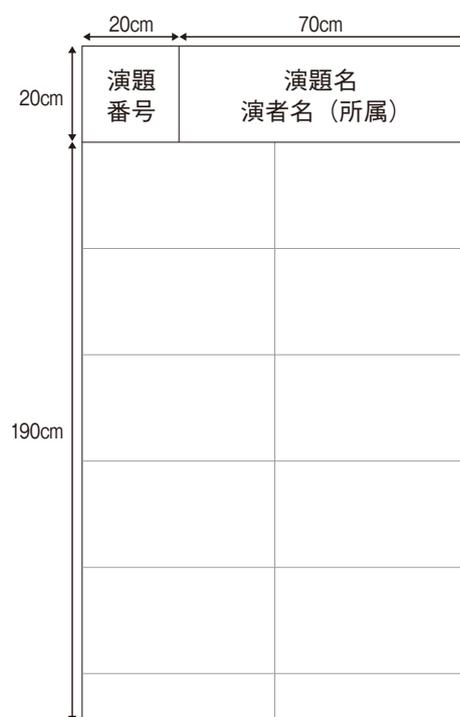
幸道直樹（こどう小児科） E-mail：nkodo43@mbox.kyoto-inet.or.jp
FAX：0774-38-2301

【採否等の連絡】

演題の採否、発表日時等については、実行委員会にご一任ください。慎重に検討の上、6月末までに連絡します。

【優秀演題表彰】

会長ならびに実行委員、学会誌編集委員、リサーチ委員で構成する選考委員会により、優秀演題を選出し、閉会式の前に表彰します。



8. パネル展示募集

募集期間：2011年3月22日（火）～7月15日（金）

【パネル展示の内容】

1. 院内報ネットワーク等の院内報（誌）の展示：各医療機関で発行している院内報をそのまま展示してください。
2. 医療保育ネットワーク等の展示：外来診療の場での看護師、保育士、事務職などのみなさんの活躍をご紹介ください。
3. 「何に気づき、どう学ぶか」：今回のテーマです。このテーマをイメージしていただいて、外来診療での様々な工夫、日頃感じていること、思っていること、訴えたいこと、実践していること、広く募集します。掲示スペースいっぱいにご紹介ください。

【展示発表の形式】

1. ポスター、写真、印刷物などは、実行委員会で用意する縦×横＝210cm×90cmパネルに貼付してください。
2. 本や診療の小道具、おもちゃなどの展示は、パネル前に幅180cm×奥行45cm×高さ70cmの机を用意しますので、パネルと同じ90cm幅をお願いします。ご利用を希望される場合は、申込書にご記入ください。
3. 展示番号とプッシュピンは事務局で用意します。

●展示日時など

展示物設営：8月27日（土）8：00～9：00

展示場所：神戸国際会議場4階および5階ロビー

展示期間：8月27日（土）9：00～18：00

8月28日（日）9：00～14：00

撤去：8月28日（日）14：00～16：00

※8月28日16：00以降になっても撤去されない場合は事務局で処分します。

【応募方法】

1. 年次集会ウェブサイト (<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>) による申込み
 - 1) 画面左側の「メニュー」のパネル展示をクリックしてください。
 - 2) パネル展示申込サイトから、必要事項をすべてご記入いただき、申込みください。
2. インターネットでの申込みができない場合は、E-mailまたはFAXにて下記までお問い合わせください。折り返し、申込書をお送りします。

《問合せ先》

武内 一（耳原総合病院） E-mail：takechanespid@gmail.com

FAX：072-243-1946

【採否などの連絡】

応募が規定数を超えた場合は、お断りすることがあります。

採否などは実行委員会にご一任ください。慎重に検討の上、6月末までに連絡します。

- 展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関して、事務局では責任を負いかねます。展示物の保管が必要な場合は各自をお願いします。

担当委員：武内 一、板金康子、小林 謙

9. 患者家族の会・支援者の会 展示募集

募集期間：2011年3月22日（火）～7月15日（金）

患者家族の会・支援者の会の紹介展示を受付けます。

【展示の形式、参加に際してのお願いなど】

1. ポスター、写真、印刷物などは、実行委員会で用意する縦×横＝210cm×90cmパネル2枚以内に貼付してください。
2. 会の紹介パンフ・書籍・カンパグッズなどは、パネル展示前に幅180cm×奥行き45cm×高さ70cmの机1卓を用意しますので、ご利用ください。
3. カンパおよび署名集めは、会の各ブースでお願いします。資料配布などは、会場係にお声かけの上で、通行の妨げにならない範囲でお願いします。
4. ブース展示のための本学会年次集会参加には、参加費は必要ありません。
5. 展示番号とプッシュピンは事務局で用意します。

●展示日時など

展示物設営：8月27日（土）8：00～9：00

展示場所：神戸国際会議場4階

展示期間：8月27日（土）9：00～18：00

8月28日（日）9：00～14：00

撤去：8月28日（日）14：00～16：00

※8月28日16：00以降になっても撤去されない場合は事務局で処分します。

【応募方法】

「患者家族の会・支援者の会展示希望」と明記の上、下記担当までお送りください。できればE-mailでお願いします。

《問合せ先》

武内 一（耳原総合病院） E-mail：takechanespid@gmail.com

FAX：072-243-1946

折り返し、患者家族の会・支援者の会展示申込用紙を、E-mail（またはFAX）でお送りいたします。

【採否などの連絡】

応募が規定数を超えた場合は、お断りすることがあります。

採否などは実行委員会にご一任ください。慎重に検討の上、6月末までに連絡します。

- 展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関して、事務局では責任を負いかねます。展示物の保管が必要な場合は各自でお願いします。

担当委員：武内 一、板金康子、小林 謙

10. セミナーのご案内（事前申込み不要）

昨年（第20回年次集会）まで、Meet the Expertと呼んでいたセッションです。今年はセミナーと名前を変えています。「教育セミナー」、「スキルアップセミナー」、「アドボカシーセミナー」、「特別セミナー」の4種類のセミナーに分けることにしました。

それぞれのセミナーではテーマを決め、その道のエキスパートだけでなく、より議論を生むことができるように、学会員から一言意見がある人も含めて講演していただきます。

また、セミナーとは別に、本学会の各部会の代表者に、学会の今とこれからを講演していただく機会を設けました。この学会が具体的にどのような活動を行っているのか、学会員や学会員以外の方にも知ってもらおうという試みです。事前登録の必要はありません。途中での退室も可能ですが、他の方への配慮をお願いします。講演要旨は抄録集に掲載いたします。年次集会前に演者への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

内容については調整中ですので、今後プログラム発送・学会当日までに演題名、講演内容について若干の変更が見込まれることをご了承ください。

担当委員：西村龍夫、井上徳浩、会田道夫、福田弥一郎、中村 豊、佃 宗紀、青木才一志、太田智和、小林 謙

教育セミナー#1 誰でもできる臨床研究

8月27日（土）9：00～11：45

	演 者	内 容
小児科外来での臨床研究の意義	絹巻 宏 絹巻小児科クリニック	調査・研究活動は学会の柱です。臨床研究はやろうと思えばだれでも簡単にできます。その意義と実際の計画、臨床研究に大切な統計解析の基礎を勉強するセミナーです。
研究計画から発表まで	橋本 裕美 橋本こどもクリニック	
研究データを解析しよう！ ～統計解析の基礎と多変量解析～	市原 清志 山口大学医学部保健学科	

教育セミナー#2 咳嗽を科学する

8月27日（土）9：00～11：45

	演 者	内 容
気道感染症と咳嗽	植村 幹二郎 うえむら小児科内科クリニック	咳嗽は発熱に次いで小児科外来で多い主訴です。咳嗽はどの程度治療すべきでしょうか？ 現在のプライマリーケアの小児科外来では咳嗽治療に統一した見解がありません。咳嗽の診断と治療、また気管支喘息との関連をどのように考えれば良いのか、セミナーを通して考えてみたいと思います。
喘鳴疾患の鑑別	井上 徳浩 近畿大学医学部小児科学教室	
乳幼児の喘鳴は気管支喘息か？	西村 龍夫 にしむら小児科	
咳嗽の薬理学（仮題）	田中 敏博 JA静岡厚生連 静岡厚生病院	

スキルアップセミナー#1 小児科外来のコ・メディカル基礎知識

8月27日(土) 9:00~11:45

	演者	内容
知っておくべきワクチンの知識	藤岡 雅司 ふじおか小児科	小児医療に必要な基礎知識をもう一度勉強してみようというセミナーです。ワクチンの基礎知識と、小児科外来を受診する患者の大多数を占める風邪とアレルギー疾患の基礎知識、さらに服薬指導を学びます。ふだんしていることを再度勉強することで、理解を深め、日常の仕事に活かしましょう。
風邪って何だろう?	松下 享 松下こどもクリニック	
子どもとアレルギー ～診断と治療の基礎～	西藤 なるを 西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック	
小児への服薬指導	上荷 裕広 すずらん調剤薬局	

アドボカシーセミナー#1 子どもを取り巻く環境を考える

8月27日(土) 9:00~11:45

	演者	内容
事故予防 ～大難を小難に～	服部 益治 兵庫医科大学小児科学教室	小児医療に携わる者は、子どもの代弁者でなければいけません。子どもたちが健やかに成長するため、子どもを取り巻く環境を考え、その問題点を探って、我々から社会に情報を発信しようというセミナーです。
子どもとメディア(仮題)	田中 英高 大阪医科大学小児科学教室	
児童虐待の理解を深めるために ～今私たちにできること～	稲垣 由子 甲南女子大学人間科学部 総合子ども学科	
子どもたちを守るため、今私たちに できること ～禁煙の最新知識～	高橋 裕子 奈良女子大学 京都大学病院禁煙外来	

特別セミナー#1

8月27日(土) 14:30~15:20

	演者	内容
ホスピタル・アート ～医療現場におけるアートの可能性～	森口 ゆたか NPO法人アーツプロジェクト	殺風景な医療現場をアートの力で、より快適な癒しの空間に生まれ変わらせてみませんか?ホスピタル・アートの現状を海外の事例も含めご紹介いたします。

教育セミナー#3 小児科外来における診断学

8月28日(日) 10:40~13:10

	演者	内容
初期印象診断(判断) ～外来トリアージの臨床力～	武谷 茂 たけや小児科医院	小児は症状を訴えないことが多く、内科とは異なる診断へのアプローチが必要となります。小児科医はどのような過程で診断を行っているのか?このセミナーで再度勉強してみましょ。新しい診断技法が見つかると思います。
小児の診察技法	藤田 位 藤田小児科	
小児の鼓膜・鼻腔所見	土田 晋也 つちだ小児科	
外来におけるウイルス感染症の診断(仮題)	原 三十九 原小児科	

スキルアップセミナー#2 より魅力ある小児科外来を目指して

8月28日(日) 10:40~13:10

	演者	内容
小児科外来でのトリアージ	井上 幸子 中野こども病院 小児救急看護認定看護師	スキルアップセミナー#1が基礎編とすると、#2は応用編です。より魅力ある小児科外来を作るためにはどのようにすれば良いのか？問題のある子どもさんへの対応はどうするのか？などを学びます。
窓口業務からみえてくるもの	森 朋子 こうどう小児科 ソーシャルワーカー	
小児科外来でのプレパレーション	益永 比呂子 耳原総合病院小児病棟 病棟保育士	
外来における発達障害児への対応	佃 宗紀 つくだクリニック	

アドボカシーセミナー#2 子どもの貧困に向き合う ~気づきから行動へ!~

8月28日(日) 10:40~13:10

	演者	内容
わが国の子どもの貧困の実態(仮題)	湯澤 直美 立教大学コミュニティー福祉学部	現在、子どもの貧困は大きな社会問題になっています。しかし、我々の診療、健診、園医・校医業務等の場面で、このことに気づけているでしょうか？気づきに続く行動がとれているでしょうか？身近にいる子どもの貧困への気づきから、支援への行動を起こすためのきっかけ作りのためにこのセミナーを企画しました。
弁護士の立場から見えてくる子どもの貧困問題(仮題)	峯本 耕治 大阪弁護士会子どもの権利委員会	
乳幼児健診で気になる子どもの背景にある貧困(仮題)	佐藤 拓代 大阪府立母子保健総合医療センター企画調査部	

特別セミナー#2

8月28日(日) 9:30~10:20

	演者	内容
知っておきたい ダイエットの常識・非常識 —子どもたちに正しいメッセージを伝えるために—	永井 成美 兵庫県立大学環境人間学部	講師は肥満と食育の専門家で、その研究はNHKの「ためしてガッテン」にも紹介されています。子どもだけでなくあなたのためにも正しいダイエットを学んでください。

トータルケアのできる小児科医をめざして ~学会活動を語る~

8月28日(日) 10:40~13:10

	演者	内容
外来小児科学会Now	運営部会 横田 俊一郎	学会活動の具体的な内容を広く知ってもらおうというセミナーです。セミナーを聞いて、興味がある学会活動へ参加してみませんか？
リサーチマインドを育てる	研究部会 永井 崇雄	
教えることは最高の学習	教育部会 横井 茂夫	
診療の質の向上を!	診療部会 吉永 陽一郎	
小児科医とアドボカシー	社会活動部会 藤岡 雅司	
学会からの情報発信	情報部会 黒木 春郎	

11. 託児のご案内

申込期間：2011年3月22日（火）～8月19日（金） 17：30

会期中、託児室を開設します。ご利用をご希望の方は利用規約をお読みのうえ、下記要領で必ず事前にお申込みください。

対 象：生後6ヶ月～小学生まで

開設日時：8月27日（土）8：30～18：30

：8月28日（日）8：30～16：00

料 金：無料

場 所：セキュリティ確保の為、お申込者のみにご案内いたします。

定 員：両日とも25名（当日申込みはできません）

お 願 い：昼食・おやつ・飲みものは各自でご用意ください。

【申込期限】

8月19日（金）17：30まで

【申込方法】

年次集会ウェブサイト（<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>）より、利用規約をお読みのうえ、**申込書に必要事項を記入してE-mail**で下記までお申込みください。確認後、受領確認書をお送りいたします。

【申込み先】

E-mail：yoyaku@alpha-co.com

FAX：075-212-7722

※完全予約制となっておりますので、ご予約のない場合にはご利用いただけません。

※定員になり次第締切らせていただきますので、予めご了承ください。

【委託先（お問合せ）】

（株）アルファ・コーポレーション <http://www.alpha-co.com>

（ABA：全国ベビーシッター協会正会員）

TEL：075-212-7555 E-mail:yoyaku@alpha-co.com

なお、不測の事故に対応するために、シッター会社が保険に加入しており、保険適用範囲で補償いたします。また学会及び事務局は、事故の責任は負いません。

12. 宿泊のご案内

申込期間：2011年3月22日（火）～7月15日（金）

宿泊・交通の手配については株式会社日本旅行神戸支店に委託しています。

参加登録と同様、年次集会ウェブサイト（<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/>）よりお申込みください。インターネットでの申込みができない場合は、登録事務局（㈱日本旅行神戸支店）まで申込書をご請求いただき、FAXにてお申込みください。

【お申込・変更取消方法】

- ・予約確定後、インターネット申込みの方は予約確認メールが届きます。FAX申込みの方には請求書をお送りいたしますのでお手元に届き次第、代金をお支払いください。
- ・お申込みについては、確実な手配を行うため、お電話でのお申込みはお断りさせていただいております。
- ・変更・取消は登録事務局（㈱日本旅行神戸支店）までFAX・E-mailの書面にてご連絡ください。取消料を差し引いた金額を後日ご返金させていただきます。※その際、返金に伴う手数料はお客様負担となりますので、ご了承ください。
- ・お申込みの皆様には、通信事務手数料として525円を申し受けます。（お取消の場合もご返金しかねますので、ご了承ください。）
- ・お支払締切日：**2011年7月20日（水）**までに入金確認できますようお支払いください。

【宿泊ホテルについて（1泊朝食付・サービス料・税金込、お一人様の料金）】

- ・宿泊設定日：**2011年8月26日（金）・27日（土）・28日（日）**の3日間
- ・ご予約はお申込み順とさせていただきます。ご希望のホテルが満室の場合は他のホテルをご案内申し上げます。（インターネット申込の場合は在庫室数が表示されます。FAX申込の場合は必ず第2希望までご記入ください。）
- ・今回ご案内しますホテル・料金などは、33頁にございますのでご確認ください。

【変更・取消料金】

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって

取消日	10日前まで	9日前～4日前	3日前～2日前	前日	当日・不泊
取消料	無料	宿泊料金の20%	宿泊料金の30%	宿泊料金の50%	宿泊料金の100%

【お支払について】

お支払方法は、「クレジットカード」または「銀行振り込み」のいずれかにてお願いいたします。

ご希望のお支払い方法をお申込み時にご選択ください。（参加費とあわせてお支払いいただけます。）

※銀行振り込みの場合、振込手数料はお申込者負担にてお願いいたします。

■お申込及びお問合せ

株式会社 日本旅行 神戸支店内

『第21回日本外来小児科学会年次集会 登録事務局』

担当者：樋口 敬和／濱田 康之／池田 理紗

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-2 JR西日本神戸支社5階

TEL：078-371-2810 FAX：078-371-2816

E-mail：21st_sagpj@nta.co.jp

営業時間：平日10：00～18：00（土日祝日休み）

宿泊ホテルリスト 8月26日(金)・27日(土)・28日(日)

地区名	番号	ホテル名	部屋タイプ	宿泊料金① 8/26(金) 8/28(日)	宿泊料金② 8/27(土)	申込記号	会場までのアクセス (最寄駅へのアクセス)
ポート アイランド	①	神戸ポートピアホテル	シングル	15,750円	15,750円	1-S	会場ホテル (神戸国際会議場直結)
			ツイン	10,500円	13,250円	1-T	
	②	ホテルパールシティ神戸	シングル	11,550円	11,550円	2-S	会場まで徒歩4分
			ツイン	9,450円	9,450円	2-T	
	③	クオリティホテル神戸	シングル	9,900円	9,900円	3-S	会場まで徒歩3分
			ツイン	8,400円	8,400円	3-T	
元 町	④	ホテルオークラ神戸	シングル	18,000円	21,000円	4-S	JR元町駅より徒歩15分 会場までタクシーで15分
			ツイン	11,550円	13,650円	4-T	
	⑤	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	シングル	15,750円	21,000円	5-S	JR元町駅より徒歩15分 会場までタクシーで15分
			ツイン	11,550円	15,750円	5-T	
三 宮	⑥	三宮ターミナルホテル	シングル	10,500円	10,500円	6-S	JR三ノ宮駅隣接 会場までシャトルバスで15分
			ツイン	9,900円	9,900円	6-T	
	⑦	神戸東急イン	シングル	11,550円	11,550円	7-S	JR三ノ宮駅より徒歩3分 会場までシャトルバスで15分
			ツイン	9,900円	9,900円	7-T	
	⑧	アパホテル神戸三宮	シングル	8,400円	9,450円	8-S	JR三ノ宮駅より徒歩5分 会場までシャトルバスで15分
			ツイン設定無し				
	⑨	神戸三宮ユニオンホテル	シングル	9,000円	9,000円	9-S	JR三ノ宮駅より徒歩10分 会場までシャトルバスで15分
			ツイン	8,800円	8,800円	9-T	
	⑩	ホテルサンルートソプラ	シングル	10,500円	10,500円	10-S	JR三ノ宮駅より徒歩10分 会場までシャトルバスで15分
			ツイン	9,450円	9,450円	10-T	
	⑪	ザ・ビー神戸	シングル	10,500円	10,500円	11-S	JR三ノ宮駅より徒歩5分 会場までシャトルバスで15分
			ツイン	8,400円	8,400円	11-T	
	⑫	ホテルモントレ神戸	シングル	11,550円	11,550円	12-S	JR三ノ宮駅より徒歩5分 会場までシャトルバスで15分
ツイン			10,500円	10,500円	12-T		
⑬	ホテルモントレアマリー	シングル	11,550円	11,550円	13-S	JR三ノ宮駅より徒歩5分 会場までシャトルバスで15分	
		ツイン	10,500円	10,500円	13-T		
新 神 戸	⑭	ANAクラウンプラザ ホテル神戸	シングル	13,650円	15,750円	14-S	JR新神戸駅隣接 会場までシャトルバスで25分
			ツイン	11,550円	13,750円	14-T	

★会場である神戸ポートピアホテル及び神戸国際会議場は、ポートアイランド内にあります。
最寄駅はポートライナーの市民広場駅。下車徒歩2～3分です。
ポートライナーは三宮駅及び神戸空港駅が始発駅となります。

★JR新神戸駅及びJR三ノ宮駅より神戸ポートピアホテル、ホテルパールシティ神戸、クオリティホテル神戸行き
無料シャトルバスがご用意です。(新神戸駅より所要25分、三ノ宮駅より所要15分です)

ご旅行条件（要約）

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認のうえお申込下さい。

《本旅行条件書の意義》

この書面は旅行業法第12条の4に定めるところの取引条件の説明書面及び同法第12条の5に定めるところの契約書面の一部となります。

「お申込み・お支払いのご案内」

このご旅行は、株式会社日本旅行神戸支店（以下「当社」といいます）が企画・募集し実施する旅行です。このご旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結していただくこととなります。

- (1) 申込書に必要事項をご記入の上お申し込み下さい。
- (2) 申込受付後、予約確認書、お支払いのご案内を送付（メール）しますので、ご確認のうえ代金をお支払い下さい。
- (3) 大会直前のお申込みの場合は、予約確認書やお支払案内が遅れる場合がございます。その場合には大会受付でお支払いいただくこともございます。

※ 予約の成立について

〈FAX、郵便でご予約の場合〉

FAXは24時間受け付けますが、予約可否のご回答は当社の営業時間内に差し上げます。ご予約がお取りできた旨、FAX又はお電話にてご連絡した時点でご予約が成立となります。

〈オンラインでご予約の場合〉

24時間受け付けます。ご予約番号を画面で表示し、予約成立のEメール（予約通知）をお送りした時点でご予約が成立となります。

※ 契約の成立について

ご旅行契約の成立に付きましては以下の通りとなります。
（契約内容に付きましては弊社旅行業約款をご参照ください）

〈FAX、郵便でご予約の場合〉

ご予約成立のご連絡後、お申込金を振り込み・クレジットカード決済などでいただいた時点で契約が成立となります。

〈オンラインでご予約の場合〉

ご予約後の決済方法により契約成立時期が異なりますのでご注意ください。

1. クレジットカードオンライン決済お申込の場合
24時間決済が可能です。決済が終了した旨をご連絡したEメールがお客様に到着した時点で契約が成立となります。
2. 銀行振込により決済いただく場合
お申込金又は旅行代金をお振り込みいただいた時点で契約が成立となります。
3. FAX等書面又はお電話による決済打合せの場合
当社の営業時間内（夜間等営業時間外のご予約の場合翌営業日）にカード決済等の処理を行います。FAX等書面又はお電話にてカード決済をご希望される場合はカード情報の有効が確認された時点で契約が成立となります。

※郵便振替を利用される場合は2. に準じます。

※オンライン予約後画面上での手続きを中断された場合、あるいはご案内するお支払い期限内にお振り込み又は決済打合せのご連絡が無い場合、ご予約を取り消させていただく場合がございます。

■お申込み締切日

平成23年7月15日（金）

■旅程管理について

国内宿泊、交通等の手配のみを行うフリープランの場合、約款に定める旅程管理は行いません。旅行サービスの提供を受けるために必要なクーポン券類又は予約確認書類をお渡しいたしますので、サービスの提供を受ける手続きはお客様自身で行っていただきます。

■特別補償について

お客様が募集型企画旅行参加中に、その生命、身体又は手荷物に被られた一定の損害については、当社の故意、過失の有無にかかわらず特別補償規程に定めるところにより、補償金及び見舞金をお支払いします。

■変更・取消のご案内

- ・変更・取消のご連絡は必ずFAX、Eメールなど書面にてお願いいたします。
- ・宿泊のみご予約の場合の取消料は下記の通りです。

取消日	取消料
●宿泊開始の4日前まで	無料
●宿泊開始の3日前から前日	(旅行代金の) 20%
●宿泊開始の当日	(旅行代金の) 50%
●無連絡の取消及び不泊	(旅行代金の) 100%

■個人情報の取り扱い

- (1) 当社らは、旅行申し込みの際にご提供いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領のために必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社、当社グループ会社及び販売店では、①取り扱う商品、サービス等のご案内 ②ご意見、ご感想の提供、アンケートのお願い ③統計資料の作成にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。
- (3) このほか当社の個人情報の取り扱いに関する方針等については、当社のホームページをご参照下さい。
<<http://www.nta.co.jp/>>

■ご旅行条件・ご旅行代金の基準

この旅行条件は、2011年2月25日を基準としています。また旅行代金は、2011年2月25日現在の有効な運賃・規則を基準としています。

【国内旅行傷害保険加入のすすめ】

安心してご旅行をしていただくため、お客様自身で保険をかけることをおすすめいたします。

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認のうえお申し込み下さい。

西日本 11-038

《旅行企画・実施》

株式会社 日本旅行 神戸支店

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-2
JR西日本神戸支店5F

TEL: 078-371-2810
FAX: 078-371-2816

観光庁長官登録旅行業第2号
総合旅行業務取扱管理者：細谷繁樹

(社) 日本旅行業協会正会員
営業時間 10:00~18:00
(土・日・祝日はお休み)



総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店（営業所）での取り引きに関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ね下さい。

13. 日本外来小児科学会入会手続きのご案内

(2005年2月13日改定)

入会を希望される方は、学会事務局に入会申込書を請求、所定の事項を記入し、会員の推薦文を添えて学会事務局へお申込みください。役員会の承認を経て、入会決定を通知しますので、確認後、入会金と年会費を納入してください。以上の手続き全てが終了した時点で会員となります。

■入会手続き手順

1. 学会事務局に入会申込書を請求してください。申込書は、学会誌、年次集会プログラムなどに添付してありますので、そのコピーでも結構です。
2. 「申込書」に記入。
3. 当学会会員の推薦が必要です。
4. 記入を終えた「申込書」を学会事務局にお送りください。
5. 学会役員会（年4回開催）での入会審査と承認を受けます。承認されますと、2週間以内に承認通知と入会金・年会費請求書をお送りいたします。
6. 入会金3,000円と当該年度の年会費を指定口座に納入してください。年会費は、診療所・病院開設者は15,000円、それ以外の方は10,000円です。勤務医とコメディカルは年会費10,000円です。
7. 入会手続き終了。

<申込書に関して>

「申込書」の様式が変更になりましたので、2005年2月以降に入会を申請される方は、新「申込書」をご使用ください。（新申込書では、捺印を廃止しました）

<会員の推薦>

入会に関しては、当学会会員の推薦が必要です。以前、設定されていた入会資格の「保健医療活動が主に小児を対象とする医療関係者」は、削除されています。

<役員会承認に関して>

入会には、役員会での承認が必要です。役員会は基本的には年4回（2月・5月・8月・11月頃）開催されています。

<年会費>

- * 当学会の会計年度は、1月1日から12月31日までです。
- * 11月頃に開催されます理事会で入会が承認された場合は、入会年度を御自身でお決めの上、ご入金ください。12月までに手続きが完了すれば、当該年度の会誌をお送りします。次年度からの会費納入の場合は、新年度の発行号からの送付となります。

■日本外来小児科学会・事務局（入会事務取扱先）

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル10階

株式会社 春恒社 学会事務部内

Tel : 03-5291-6231 Fax : 03-5291-2176

入会申込書

平成 年 月 日

日本外来小児科学会 会長 殿

貴学会の目的に賛同し入会を申し込みます。

ふりがな
氏名：
(自署) 1.男 2.女 大正昭和 年 月 日生

□勤務先： 診療所・病院開設者 上記以外
【会員種別にもチェック✓必ず記入して下さい】

市町村名にふりがなを

所在地 〒□□□□-□□□□ 都道府県 区市郡

TEL： FAX：
E-mail：

市町村名にふりがなを

□自宅住所 〒□□□□-□□□□ 都道府県 区市郡

TEL： FAX：

※勤務先、自宅のどちらかに郵便送付先として✓印を入れて下さい。

職種：1.小児科医 専門医 2.他科の医師 (専門：)
3.その他 (具体的に)
※小児科学会専門医の方はに✓印をつけて下さい。

所属学会 (医会)： 日本小児科学会 日本小児保健学会 日本小児科医会
に✓印をつける その他 (具体的に)

自薦文 (入会して何をしたいかをお書き下さい)：

興味のある分野に✓印をつけてください 診療 教育 研究 社会活動 その他 ()

推薦文：

ここに _____ 氏を日本外来小児科学会会員に推薦致します。

平成 年 月 日 日本外来小児科学会会員 氏名 (自署)

14. 第4回ワークショップリーダー研修会のご案内

本学会ワークショップ委員会主催の第4回ワークショップ（WS）リーダー研修会を春季カンファレンス終了後に行います。今回は、WSに必要な事務的な手続きについて説明いたします。第21回年次集会のWSリーダーをされる方、今後リーダーをしようと考えている方はぜひご参加ください。

昨年とは日にち、会場が違っておりますので、お間違えの無いようにお願いします。

参加費は無料です。

日時：4月3日（日） 16：30（春季カンファレンス終了後）～18：00

会場：神戸国際会議場 3階301

締 切 日 一 覧

5月23日月	WS事前参加登録
5月23日月	一般演題募集
7月15日金	パネル展示募集
7月15日金	事前参加登録 宿泊申込み
7月20日 日	事前参加登録入金 宿泊申込入金
8月19日金	託児申込み

【注意事項】

1. 参加者の皆様へ

- ・スライド発表中の撮影は堅くお断りします。
- ・ワークショップ（WS）は当日参加不可の場合があります。事前の参加登録をお勧めします。

2. 参加登録費の支払期限は**7月20日（水）**となっています。

- ・支払期限までに入金が確認できない場合は、当日登録扱いとなりますので、ご了承ください。